

教科目名 心理学 (Psychology)

学科名・学年 : 全学科 5 年 (教育プログラム 第 2 学年 ◇科目)

単位数など : 選択 1 単位 (後期 1 コマ, 授業時間 23.25 時間)

担当教員 : 藤田 文

授業の概要			
心の動きの基礎や仕組みに関して蓄積された知見や理論を学ぶとともに、できるだけ自分自身の心を見つめ、心とは何か、心の健康に何が必要かについての問題意識と理解を深める。			
達成目標と評価方法		大分高専目標 (A1), JABEE 目標 (a)	
(1) 基礎的な心理実験の経験を通して心のメカニズムに接近する科学的方法論を学ぶ。(定期試験)			
(2) 心理テストの実体験や映像教材によって、自己認識・心の健康に対する理解を深める。(定期試験)			
(3) 人間の心に関する一般的な先入観を廃して、科学としての心理学という認識を育てる。(定期試験)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	自己とはなにか	自己の概念の定義	【理解の度合い】
2	自尊感情と自己評価	自尊感情と自己評価の測定と概念の理解	
3	対人関係と自己 (1)	自己の対人関係の振り返りと理解	
4	利他性と自己 (1)	利他性・思いやり	
5	利他性と自己 (2)	社会的ジレンマ	
6	ストレスと自己	ストレス状態とレジリエンスの理解	
7	集団と自己	集団の人間関係	
8	後期中間試験		【試験の点数】 点
9	後期中間試験の解答と解説	自分の理解力を分析し、わからなかった部分を理解する。	【理解の度合い】
10	パーソナリティーの理論 (1)	パーソナリティーの類型論特性論の理解	
11	パーソナリティーの理論 (2)	質問紙法・投影法・知能検査の理解	
12	カウンセリング (1)	カウンセリングの理論	
13	カウンセリング (2)	カウンセリングの技法	
14	精神障害と心理臨床	精神障害とカウンセリングマインド	
15	後期期末試験		【試験の点数】 点
	後期期末試験の解答と解説		
履修上の注意	心理テストなど実際に経験してもらうので、積極的に参加する気のない者は受講を認めない。途中で受講をやめてもらう場合もある。		【総合達成度】
教科書	授業の進行に合わせて教材を資料として提供する。		
参考図書	梅本堯夫・大山正編著「心理学への招待」サイエンス社 渋谷昌三・小野寺敦子「手にとるように心理学がわかる本」かんき出版		
自学上の注意	参考図書や授業で紹介したHPを見ておくこと。		
関連科目	哲学概説		
総合評価	最終成績 = (後期中間試験成績 + 後期期末試験成績) / 2 総合評価が 60 点以上を合格とする。 再試験は基本的に実施しない。		
			【総合評価】 点